

# 勝浦町人口ビジョン

## 1. 勝浦町における人口現状

- ・出生数の減少による自然減
- ・若い世代を中心に転出超過による社会減
- ・少子高齢化の進行が速い
- ・就業に伴う流出人口が多い

## 2. 人口の将来展望

### 「地方創生」に係る取組みを実施

#### ① 合計特殊出生率の向上

→現状 1.39 人を 2025 年に 1.80、2030 年に人口置換水準（人口が減少しない水準）2.07 を達成

#### ② 人口流出の抑制

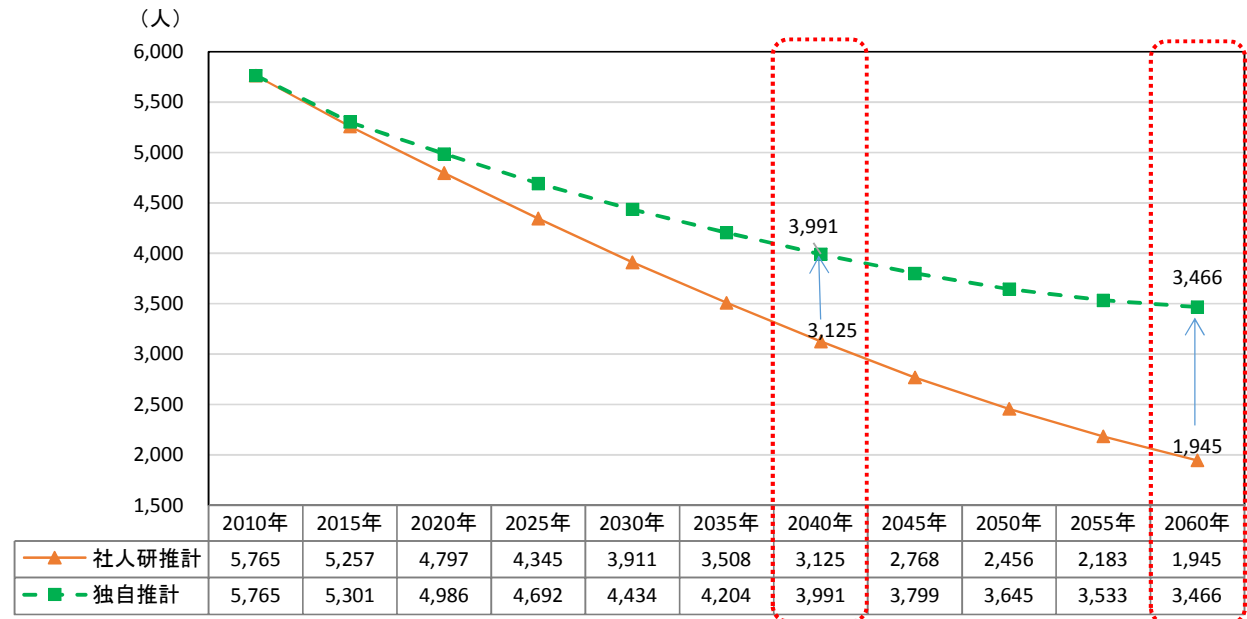
→現状、11 人流出超過を 2020 年までに均衡をはかり、2025 年以降年間 1 世帯（2～3 人）程度の転入超過を継続

## 3. 人口目標

2040 年 将来人口 4,000 人の確保(社人研推計 3,125 人)

2060 年 将来人口 3,500 人の確保(社人研推計 1,945 人)

### ■社人研推計と独自推計による長期的な見通し



# 「かつうら創生」総合戦略 ～農業・交流・定住のまちをめざして～



【基本目標Ⅰ】  
「しごと」を増やし、安心して働ける仕組みをつくる

【目標】農林水産業の総生産額（2割増加）

- (ア) 農業の振興
- (イ) 商工業の活性化



【基本目標Ⅱ】  
移住・定住を進め「ひと」の流れをつくる

- 【目標】転入者と転出者を均衡させ、人口移動率0をめざす
- (ア) 移住促進
  - (イ) 定住促進



農業・交流・定住のかつうらを創造



【基本目標Ⅲ】  
若い世代の希望をかなえる（結婚・出産・子育て・教育）

- 【目標】18歳以下の子ども数の確保
- (ア) 子育て世代の負担軽減
  - (イ) 子育てを応援する施設整備
  - (ウ) 出会いの場の提供



【基本目標Ⅳ】  
個性豊かで魅力ある安全な「まち」をつくる

- 【目標】主要なイベントでの交流人口の増加
- (ア) 安全・安心なまちづくり
  - (イ) 交流人口の増加
  - (ウ) その他（住民との協働によるまちづくり）など



## 目 標

【基本目標Ⅰ】  
「しごと」を増やし、安心して働ける  
仕組みをつくる

### 農林水産業の総生産額（2割増加）

1,946 百万円（平成 24 年度）→2,335 百万円（平成 31 年度）

### 【基本方針】

- 農業者の抱える様々な課題（後継者不足、耕作放棄地の増加、鳥獣被害対策、販路拡大、6次産業化への対策など）に的確に対応し、農業の振興を図るとともに、特に温州みかんのブランド化を推進し、農家所得の向上をめざす。
- 町内での就業先確保の観点からも、町内での起業を促すとともに、地域の商店街の活性化に取り組む。また、企業誘致にも積極的に取り組む。

### （ア）農業の振興

- ① 新規就農者や農家の後継者を支援
  - 町単独の助成制度を創設する
- ② みかん収穫時の労働力を確保
  - 県内外からのアルバイトを募集する
- ③ 農家の労働力不足を解決
  - 専門職員を配置し、農作業のサポートを行う組織を設立する
- ④ 勝浦みかんのブランド化を加速
  - 品質の向上、統一規格の使用、県内外及び海外での販売促進など
- ⑤ 6次産業化を支援
  - 町民の行う農業の6次産業化を積極的に支援する



### （イ）商工業の活性化

- ① 商店街の活性化
  - 地域商品券の発行など
  - 町内での起業を積極的に支援する
- ③ 積極的な企業誘致
  - サテライトオフィスの誘致など



### 重要業績評価指標（KPI）

- みかん収穫お助け隊（仮称）の数 →50人（平成31年度）
- 勝浦町みかん生産販売促進協議会の会員数 28農家（平成26年度） →60農家（平成31年度）
- アグリサポートクラブ（仮称）（平成31年度までに設立）
- 物産フェアの開催（参加）件数 31件（平成26年度）→50件（平成31年度）
- 物産フェアでの売上額 150万円（平成26年度） →300万円（平成31年度） ■ 町内での起業者数 3件（5年間累計）



**【基本目標Ⅱ】**  
移住・定住を進め  
「ひと」の流れをつくる

**目 標**

平成 31 年度に転入者と転出者を均衡させ、人口移動率 0 をめざす  
転出者 11 人超過（平成 26 年）→転入・転出者均衡（平成 31 年）

**【基本方針】**

- 空き家改修や住宅建設に対する助成などにより、移住者の住環境の整備を支援する。
- 本町の情報を県内外へ P R することにより、移住者の増加を図る。
- 住宅整備の支援により、定住に向けた施策を積極的に行う。



**（ア）移住の促進**

①住環境の整備に対する助成

- 空き家バンクを整備し必要な情報提供、空き家改修・住宅建設への助成を行う

②町内の宅地確保

- 町が主体となって、定住者向けの宅地造成に着手する

③積極的な P R 活動

- 本町の魅力や独自施策を多様なツールで積極的に P R する

④「田舎トライアルハウス坂本家」の利用促進

- 移住希望者の「お試しハウス」として整備した「田舎トライアルハウス坂本家」の利用促進を図る

**（イ）定住の促進**

①定住住宅への助成

- 町民が定住の意志を持って行う住宅整備への助成を行う

②若者の移住・定住促進

- 勝浦町及び日本学生支援機構の実施する奨学金を貸与された方が本町に居住する場合、返還すべき奨学金の一部を補助することにより、若者の移住・定住を促進する



**重要業績評価指標（K P I）**

- 空き家バンク登録数 →50 件（5 年間累計）
- 「田舎トライアルハウス坂本家」の利用者数 29 人（平成 26 年度） →200 人（5 年間累計）
- 移住相談件数 →100 件（平成 31 年度）



**【基本目標Ⅲ】  
若い世代の希望をかなえる  
(結婚・出産・子育て・教育)**

**目 標**

**18歳以下の子どもの人数（同程度を確保）  
692人（平成26年度）→700人（平成31年度）**

**【基本方針】**

- 子育て世代に対する経済的な負担の軽減や、子育て環境の整備を図り、子育てしやすい町をめざす。
- 若い世代の希望を叶える施策を展開する。
- 結婚を希望する町内の単身者に「出会い」の場を提供し、結婚、定住に繋がるよう積極的に支援する。



**(ア) 子育て世代の負担軽減**

**① 経済的な負担の軽減**

- 5歳児の保育料及び第3子以降の保育料の無料化、高校卒業までの医療費無料化、出産祝い金の交付など

**② 阿南市方面への通学手段の確保**

- 高校進学時の選択の幅を広げるため、通学手段の確保について、町が積極的に支援する

**(イ) 子育てを応援する施設整備**

**① 地域で子育てを応援**

- 子育てに不安や悩みを抱える方の交流の場として「子育て世代包括支援センター(仮称)」を設置する

**② 情報通信教育の充実**

- 学校現場におけるICT機器の整備を促進する

**(ウ) 出会いの場の提供**

**① 婚活イベントの充実**

- イベントの充実、出会いを求める単身者の希望を積極的に応援する



**重要業績評価指標（KPI）**

- 出生数 32人（平成26年度） →200人（5年間累計）
- 婚活イベントの参加者数 60人（平成26年度） →100人（平成31年度）
- 子育て世代包括支援センター（仮称） →平成31年度までに設置



【基本目標Ⅳ】  
個性豊かで魅力ある  
安全な「まち」をつくる

目 標

主要なイベントでの交流人口（2割増加）

5万5千人（平成26年度）→33万人（5年間累計）

【基本方針】

- 住民の生命、財産をしっかりと守っていくため、住民が安心して生活できる町づくりを行う。
- 地域の活性化へ積極的に取り組み、本町の独自施策や各種イベントを効果的に発信することにより、本町の魅力を周知する。
- 社会基盤の整備を行うことで、安全で利便性の高いまちづくりを目指す。



(ア) 安全・安心なまちづくり

①住民生活の安全・安心の向上

- 救急・消防体制の強化を図る

②勝浦病院の在り方を検討

- 勝浦病院の経営の健全化、施設の老朽化対策など

③災害に強いまちづくりの実現

- 河川堤防の強化、浸水地区抜本的な対策を要望する

④高齢者の交通手段を確保

- 社会福祉協議会と連携し、「お買物バス」の運行を支援する

(イ) 交流人口の増加

①地域活性化の取り組みを支援

- 観光協会を「地域活性化協会（仮称）」に拡充、町内イベントの連携や情報発信体制を構築する

②「地域活性化センター（仮称）」の整備

- 地域活性化団体の拠点として整備する

③交流人口の拡大

- 新たなイベントの創出や近隣自治体との連携など

(ウ) その他（情報発信等）

①住民の「地方創生」への取り組みを支援

- 住民との協働による助成制度を創設する

②わかりやすい情報発信

- 町の施策について、様々なツールを使用したわかりやすい情報発信に努める

重要業績評価指標（KPI）

- 主要なイベントでの交流人口（2割増加） 5万5千人（平成26年度）→33万人（5年間累計）
- 新たなイベントの創出 →10（5年間累計）
- 地域活性化協会（仮称）及び地域活性化センター（仮称） →平成28年度までに設置及び整備

かつら  
ビッグひなまつり

